



発熱・のどの痛み 溶連菌感染症 にご注意を

令和6年11月6日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第44週分・10月28日～11月3日)

《インフォメーション》

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(溶連菌感染症)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶血性レンサ球菌(Group A *Streptococcus*: GAS)による上気道感染症であり、小児科定点把握疾患となっています。

今週(第44週)の富山県のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、定点医療機関あたり3.03人で、現時点では大きな流行はみられません。しかし、例年、冬季にかけて報告数が多くなる傾向があり、引き続き注意が必要です(図)。

本感染症の潜伏期間は2～5日であり、突然の発熱(38～39℃)やのどの痛み、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、体や手足に小さく赤い発疹が出たり、舌に赤いブツブツ(莓舌)ができます。この全身感染症は猩紅熱と呼ばれ、GASの産生する発赤毒により生じるとされています。ペニシリン系抗菌薬等の投与により治療できるため、治療経過は一般的に良好です。しかし、症状が消失しても医師が処方した期間まではしっかりと薬を飲み続けることが大切です。途中で飲むのを止めた場合には、菌を完全に排除することができず、再発することがあります。また、肺炎や急性糸球体腎炎等の合併症を起こすことがあります。

本感染症の感染経路は主に飛沫、接触感染です。家庭での兄弟間や学校、幼稚園、保育園などの小児集団生活施設内での感染が多くなっています。**感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。**

本感染症の感染経路は主に飛沫、接触感染です。家庭での兄弟間や学校、幼稚園、保育園などの小児集団生活施設内での感染が多くなっています。**感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。**

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 1件(80歳代、男性)

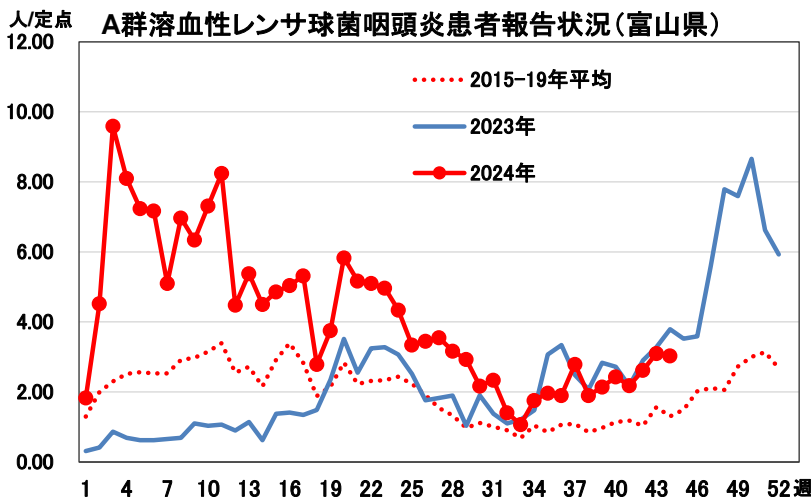
四類感染症 レジオネラ症 1件(70歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2件(①30歳代、男性 ②70歳代、男性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(60歳代、女性、A群)

《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	9.97(↓)	12.38
2位	マイコプラズマ肺炎	3.40(↑)	2.40
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.03(↓)	3.10
4位	感染性胃腸炎	2.76(↓)	2.79
5位	COVID-19	0.94(↓)	1.31
6位	インフルエンザ	0.54(→)	0.54



〇感染症発生動向調査報告状況（令和6年第44週 令和6年10月28日～令和6年11月3日）

分類	疾患	今週報告分（第44週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核					1	1	11	5	32	11	43	102
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	7	4	15	7	26	59
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								2	9	3	8	22
	四類感染症	E型肝炎											2	2
		ポツリヌス症											4	4
		レジオネラ症					1	1	3	2	11	4	20	40
	五類感染症	アメーバ赤痢											3	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			2			2	2		6		11	19
		急性脳炎									1	1	1	3
		クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1	2		4	1	13	20
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4
		ジアルジア症											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	5	9
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
		侵襲性肺炎球菌感染症							2		2		4	8
		水痘（入院例）							1	1	1			3
		梅毒							2		8	7	20	37
播種性クリプトコックス症												1	1	
破傷風										2			2	
百日咳												1	1	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	1	3	20		2	26	1,086	1,039	4,090	1,567	5,084	12,866
			0.14	0.60	1.54		0.13	0.54						
	COVID-19		12	1	8	5	19	45	2,451	1,243	3,947	2,194	3,255	13,090
			1.71	0.20	0.62	0.71	1.19	0.94						
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1		4		2	7	79	71	622	72	482	1,326
			0.25		0.50		0.20	0.24						
		咽頭結膜熱	1		1		1	3	125	260	699	39	711	1,834
			0.25		0.13		0.10	0.10						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	4	69		12	88	206	182	3,098	321	1,474	5,281
			0.75	1.33	8.63		1.20	3.03						
		感染性胃腸炎	19	6	9		46	80	961	696	1,535	689	3,792	7,673
			4.75	2.00	1.13		4.60	2.76						
		水痘					1	1	3	18	120	15	83	239
							0.10	0.03						
		手足口病	7	34	88	12	148	289	259	832	3,592	655	3,613	8,951
			1.75	11.33	11.00	3.00	14.80	9.97						
		伝染性紅斑		6				6	1	22	8	2	13	46
				2.00				0.21						
		突発性発しん		1	3	1	5	10	10	18	136	33	120	317
			0.33	0.38	0.25	0.50	0.34							
	ヘルパンギーナ	1	4		2	1	8	88	45	111	95	244	583	
		0.25	1.33		0.50	0.10	0.28							
	流行性耳下腺炎					1	1	4	1	7	3	12	27	
					0.10	0.03								
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										3		3	
	流行性角結膜炎							8	2	38	5	10	63	
基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎									1	3		4	
	マイコプラズマ肺炎	1	3	10	2	1	17	2	17	52	20	16	107	
		1.00	3.00	10.00	2.00	1.00	3.40							
入院サーベイランス（5定点）	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1	
	インフルエンザによる入院患者（※1）			2		1	3	1		2	1	1	5	
	COVID-19による入院患者	1	1			4	6	219	167	206	244	591	1,427	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

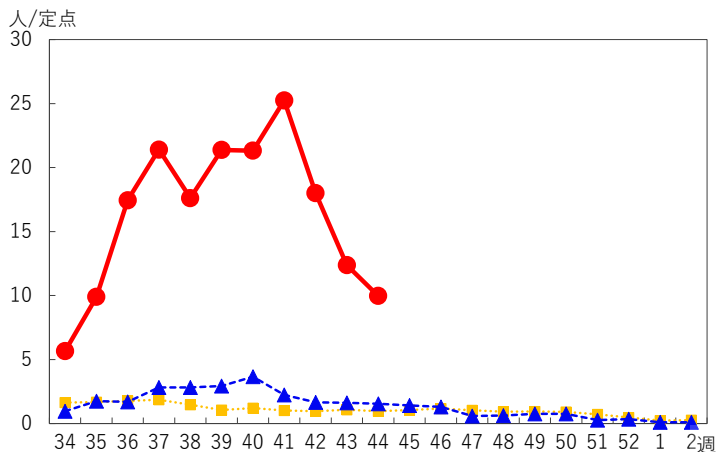
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第44週（10月28日（月）～11月3日（日））

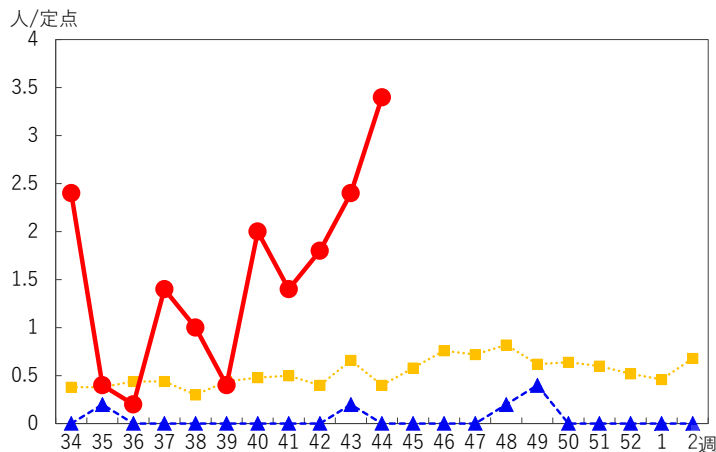
11月6日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

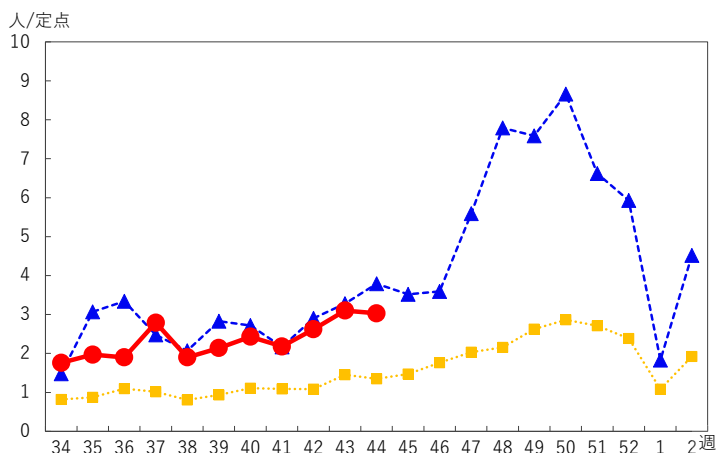
手足口病



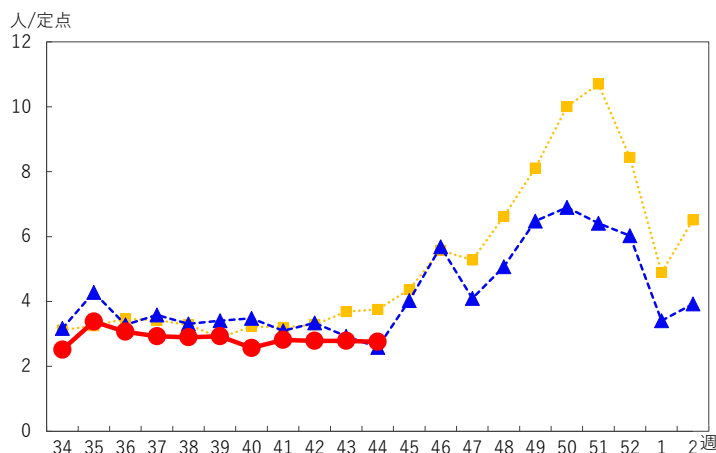
マイコプラズマ肺炎



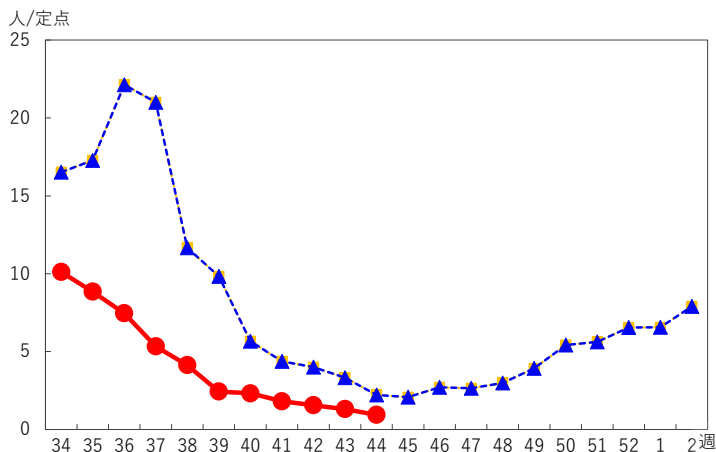
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎



COVID-19



インフルエンザ

